

令和5年度

教育委員会の事務に関する点検評価報告書

(令和4年度対象)

令和5年9月

高梁市教育委員会

# 目 次

|            |                                            |    |
|------------|--------------------------------------------|----|
| <b>第1章</b> | <b>はじめに</b>                                |    |
| 1          | 制度の目的                                      | 1  |
| 2          | 点検・評価の方法                                   | 1  |
| 3          | 点検・評価に関する有識者について                           | 1  |
| <b>第2章</b> | <b>教育委員会の活動状況</b>                          |    |
| 1          | 教育委員の選任状況                                  | 2  |
| 2          | 教育委員会議の開催状況                                | 2  |
| 3          | 教育委員会審議案件                                  | 2  |
| 4          | その他主な活動状況                                  | 3  |
| <b>第3章</b> | <b>教育委員会事務局の行政組織</b>                       | 4  |
| <b>第4章</b> | <b>教育行政基本方針と重点施策</b>                       |    |
| 1          | 令和4年度教育行政基本方針及び重点施策                        | 5  |
| 2          | 重点施策の体系                                    | 6  |
| <b>第5章</b> | <b>重点施策の点検及び評価の結果</b>                      | 7  |
|            | <b>重点施策1 心身ともにたくましい子どもが育つ教育を進めます</b>       |    |
|            | 施策1 Society5.0の時代を生き抜く力を育てます               | 8  |
|            | 施策2 一人一人の自立を目指した特別支援教育を推進します               | 10 |
|            | 施策3 たくましく、心やさしい子どもを育てます                    | 12 |
|            | 施策4 地域と連携して活力ある学校・園づくりに努めます                | 14 |
|            | 施策5 多様な体験を取り入れたふるさと学習を展開します                | 16 |
|            | 施策6 就学前から小・中・高、さらには大学までも見通した一貫教育を<br>推進します | 18 |
|            | 施策7 地域に応じた教育体制づくりを進めます                     | 20 |
|            | 施策8 地産地消に配慮した安心・安全な給食の提供と食育を推進します          | 22 |
|            | 施策9 学校園施設・設備の充実を図ります                       | 24 |

## 重点施策2 生涯学習の機会を広げ文化・スポーツの振興を図ります

|          |                          |    |
|----------|--------------------------|----|
| 施策1      | 誰もが楽しみ触れ合える生涯学習活動を推進します  | 26 |
| 施策2      | 社会教育施設の充実を図ります           | 28 |
| 施策3      | 地域文化・芸術活動を振興します          | 30 |
| 施策4      | 文化財の保護・保存と有効活用を図ります      | 32 |
| 施策5      | 歴史を生かしたまちづくりを推進します       | 34 |
| 施策6      | ライフステージに応じたスポーツ活動を推進します  | 36 |
| 施策7      | スポーツを通じた青少年の育成を図ります      | 38 |
| 施策8      | スポーツ施設の充実と広域的なスポーツを推進します | 40 |
| 施策9      | 人権を大切にする共生のまちづくりを進めます    | 42 |
| 学識経験者の意見 |                          | 44 |

## 第1章 はじめに

### 1 制度の目的

高梁市教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「地教行法」という。）の規定に基づき、今後の効果的な教育行政の推進を図るとともに、市民への説明責任を果たすことを目的として、令和4年度に重点的に取り組んだ事業について点検及び評価を実施し、その結果を報告書としてまとめ、議会に提出するとともに、市民へ公表します。

### 2 点検・評価の方法

高梁市教育委員会は、毎年度教育行政の基本方針やその年度の重点的に取り組むべき施策として「教育行政重点施策」を定めています。この重点施策に基づき実施した事業について、教育委員会が自ら点検・評価を行いました。

### 3 点検・評価に関する有識者について

点検・評価を実施するにあたり、教育に関し学識経験を有する次の3名の方に、教育委員会が行った点検・評価の結果について、ご意見等をいただきました。

諏訪 英 広 氏（川崎医療福祉大学医療技術学部健康体育学科 教授  
総合教育センター 教職課程部門長）

中 畑 里 英 氏（岡山県立高梁城南高等学校長）

渡 邊 誠 二 氏（元高梁教育事務所長、元高梁市立高梁小学校長、  
前おかやま希望学園理事長）

《参考》 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## 第2章 教育委員会の活動状況

### 1 教育委員・教育長の選任状況（令和4年度在籍）

| 氏名    | 在任期間又は任期                   | 備考                                      |
|-------|----------------------------|-----------------------------------------|
| 吉川 昭  | 平成27年11月16日<br>～令和5年11月15日 | 平成28年11月16日<br>～平成30年11月15日<br>教育長職務代理者 |
| 川上はる江 | 平成28年11月16日<br>～令和6年11月15日 | 平成30年11月16日<br>～令和2年11月15日<br>教育長職務代理者  |
| 渡邊ありさ | 平成30年11月16日<br>～令和6年11月15日 | 令和4年11月16日～<br>教育長職務代理者                 |
| 藤井 祥生 | 平成30年11月16日<br>～令和4年11月15日 | 令和2年11月16日<br>～令和4年11月15日<br>教育長職務代理者   |
| 西井 道治 | 令和4年11月16日<br>～令和8年11月15日  |                                         |
| 小田 幸伸 | 平成28年11月16日<br>～令和7年11月15日 | 平成28年11月16日～<br>教育長                     |

### 2 教育委員会議の開催状況

教育委員会議については、原則として毎月1回定例会を開催し、また必要に応じて臨時会を開催しています。令和4年度は定例会を12回、臨時会を1回開催しました。

### 3 教育委員会審議案件

地教行法第25条及び高梁市教育委員会事務委任規則の規定に基づき、令和4年度は合計120件について審議しました。

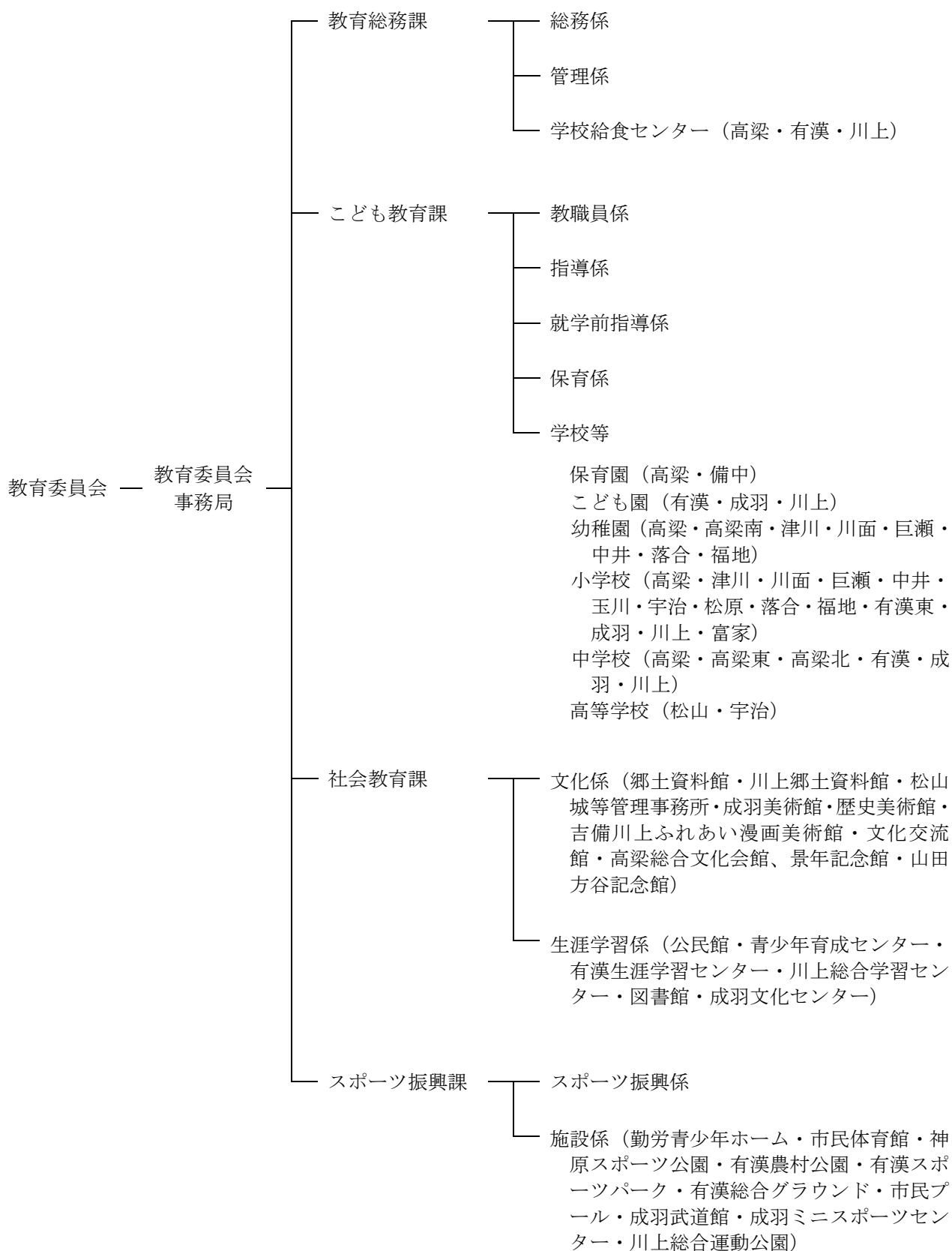
- (1) 教育行政に関する基本的な方針・・・・・・・・・・・・・・・・ 1件
- (2) 教育委員会規則等の制定又は改廃・・・・・・・・・・・・ 23件
- (3) 教育予算その他議会の議決を要する議案に関する事..... 12件
- (4) 職員（教職員を含む）の人事に関する事・・・・・・・・ 2件
- (5) 法令又は条例等に定めのある付属機関の委員の委嘱..... 53件
- (6) 教科書の採択に関する事・・・・・・・・・・・・・・・・..... 4件
- (7) 通学区域の設定又は変更に関する事・・・・・・・・..... 0件
- (8) 教育委員会に係る事務の点検及び評価に関する事..... 1件
- (9) その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・..... 24件

#### 4 主な活動状況

| 年 月      | 教育委員が出席した活動等                                                                                                       |
|----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 令和 4年 4月 | ・教育委員会議 4名                                                                                                         |
| 5月       | ・学校訪問（福地小学校 1名、有漢東小学校 1名、有漢中学校 1名）<br>・教育委員会議 4名                                                                   |
| 6月       | ・学校訪問（高梁小学校 1名）<br>・教育委員会議 4名                                                                                      |
| 7月       | ・学校訪問（宇治高等学校 1名、高梁東中学校 1名）<br>・教育委員会議 4名<br>・学校給食センター運営委員会（高梁 1名、有漢 1名、川上 1名）                                      |
| 8月       | ・教育委員会議 4名                                                                                                         |
| 9月       | ・市町村教育長・教育委員研究協議会（オンライン会議） 1名<br>・教育委員会議 4名                                                                        |
| 10月      | ・教育委員会議 4名<br>・総合教育会議 4名<br>（協議題 (1)中学校部活動の地域移行について<br>(2)学力向上を狙った授業の質保障に向けた取り組みについて<br>(3)地域学校協働活動・公民館活動の活性化へ向けて） |
| 11月      | ・令和4年度教育委員会表彰式（2個人表彰） 2名<br>・教育委員辞令交付式 1名<br>・教育委員会議 4名<br>・令和4年度岡山市町村教育委員会委員研修会 1名                                |
| 12月      | ・教育委員会議 4名                                                                                                         |
| 令和 5年 1月 | ・教育委員会議 4名                                                                                                         |
| 2月       | ・教育委員会議 4名                                                                                                         |
| 3月       | ・有漢西小学校閉校式 4名<br>・学校給食センター運営委員会（高梁 1名、有漢 1名、川上 1名）                                                                 |

第3章 教育委員会事務局の行政組織（令和4年4月1日）

（組織図）



## 第4章 教育行政基本方針と重点施策

### 1 令和4年度基本方針及び重点施策

人口減少と少子高齢社会の進行、Society5.0時代の到来やグローバル化の進展等、社会情勢は、近年著しく変化しています。そうした中、夢や目標を持ちそれを実現するために努力するとともに、様々な課題に他者と協働しながら柔軟かつたくましく対応する力を身に付けた人材の育成、人生100年時代をより豊かに生きるための生涯を通じた学びの推進等、学校教育をはじめ、生涯学習、文化、スポーツの果たす役割はますます重要になっています。

教育基本法（平成18年法律第120号）第17条第2項により、地方公共団体においても、国の教育振興基本計画を参酌して地域の実情に応じた教育の振興に関する基本的な計画を策定するよう努めることとされており、岡山県教育委員会では、令和3（2021）年度から令和6（2024）年までの4年間を計画期間とする「第3次岡山県教育振興基本計画」が令和3（2021）年2月に策定されました。

本市においても、平成23（2011）年3月に「高梁市教育振興基本計画」を、平成28（2016）年3月に「第2次高梁市教育振興基本計画」を策定。そして、これまでの取組の成果と課題を踏まえるとともに、「高梁市総合計画」の施策の具体化、また各種計画等との整合を図りながら、地域性や独自性を持たせつつ本市の教育が進むべき方向を明らかにし、推進のための計画を市民に示すことを目的として、令和3（2021）年3月に「第3次高梁市教育振興基本計画」を策定しました。

「第3次高梁市教育振興基本計画」では、「高梁市教育大綱」に掲げる「大志を抱き未来を拓く人づくり」を基本目標とし、夢や目標の実現のために努力するとともに、様々な“つながり”を大切にしながら、ふるさとへの愛着と誇りを持ち、その発展に積極的に参画・貢献できる人づくりを目指して様々な施策を展開することとしており、本年度が計画2年度目となります。

計画に基づき、就学前からの一貫教育、生涯学習、スポーツやそれぞれの地域の特色ある文化芸術活動の活性化等、高梁の豊かな自然や歴史文化など地域資源を生かし、学校・園と地域が連携・協働し、地域全体の教育力の向上に取り組むため、次の2項目の基本方針を重点施策と位置付け、総合的な取組を行います。

**重点施策1** 心身ともにたくましい子どもが育つ教育を進めます

**重点施策2** 生涯学習の機会を広げ文化・スポーツの振興を図ります

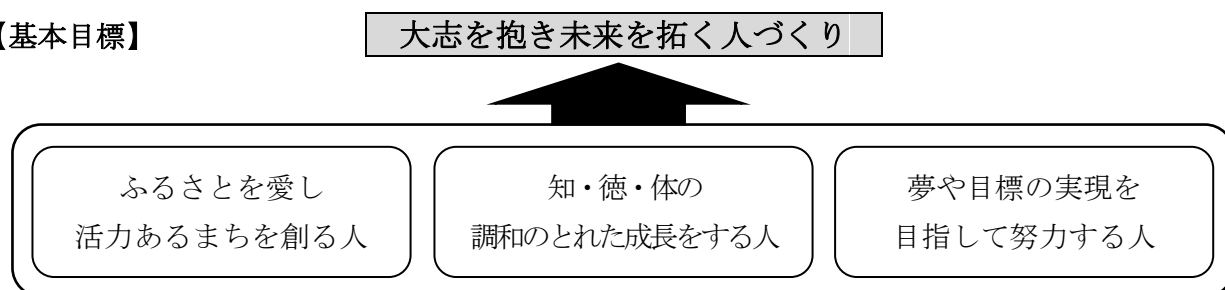


## 2 教育行政重点施策の体系

### 【本市が目指す教育】

- “生きる力”を育むことにより、自己の個性や能力を伸ばし、一人の人間として自立し、柔軟にたくましく生きていくことができるよう、発達段階に応じた質の高い教育を進めます。
- ふるさとへの愛着と誇りを育み、地域活動やまちづくり活動に主体的に参画し、地域の発展に貢献できる人材を育成するため、ふるさと高粱に学ぶ教育を積極的に進めます。
- 誰もがふるさとで健康で心豊かに暮らし続けることができるよう、生涯を通じて、いつでも、どこでも学び、スポーツに取り組むことができる教育環境づくりを進めます。
- 多様性を認め合い、尊重し合い、支え合える共生社会の実現を目指し、様々な人々との“つながり”を大切にしながら、相互理解を深め柔軟に対応していくことができる人材の育成に向けた教育を進めます。

### 【基本目標】



### 【重点施策】

- 1 心身ともにたくましい子どもが育つ教育を進めます
  - (1) Society5.0の時代を生き抜く力を育てます
  - (2) 一人一人の自立を目指した特別支援教育を推進します
  - (3) たくましく、心やさしい子どもを育てます
  - (4) 地域と連携して活力ある学校・園づくりに努めます
  - (5) 多様な体験を取り入れたふるさと学習を展開します
  - (6) 就学前から小・中・高、さらには大学までも見通した一貫教育を推進します
  - (7) 地域に応じた教育体制づくりを進めます
  - (8) 地産地消に配慮した安心・安全な給食の提供と食育を推進します
  - (9) 学校園施設・設備の充実を図ります
- 2 生涯学習の機会を広げ文化・スポーツの振興を図ります
  - (1) 誰もが楽しみ触れ合える生涯学習活動を推進します
  - (2) 社会教育施設の充実を図ります
  - (3) 地域文化・芸術活動を振興します
  - (4) 文化財の保護・保存と有効活用を図ります
  - (5) 歴史を生かしたまちづくりを推進します
  - (6) ライフステージに応じたスポーツ活動を推進します
  - (7) スポーツを通じた青少年の育成を図ります
  - (8) スポーツ施設の充実と広域的なスポーツを推進します
  - (9) 人権を大切にする共生のまちづくりを進めます

## 第5章 教育行政重点施策の点検及び評価の結果

教育委員会では、毎年度教育行政の基本方針と重点的に取り組むべき施策として「教育行政重点施策」を定めています。この重点施策を令和4年度に実施すべき事業目標と位置づけ、その実施状況について教育委員会が自ら点検・評価を行いました。

1 評価基準について

施策に対する取組みの進捗状況等を踏まえ、総合的にA～Eの5段階で評価

|   |                          |
|---|--------------------------|
| A | 目標を上回る成果があった             |
| B | 概ね目標を達成する成果があった          |
| C | 目標を半分以上達成する成果があった        |
| D | あまり成果がなかった（目標の半分に満たない成果） |
| E | ほとんど成果がなかった（目標を大きく下回る成果） |
| — | 中止等で評価ができなかった            |

※目標指標は、評価の一つであり、事業の実施状況等を総合的に勘案して評価を行う。

2 点検評価書の記載例

施策〇 施策の内容

|                                               |             |
|-----------------------------------------------|-------------|
| <b>施策の取組内容を記載</b><br>《 〇〇〇〇〇〇 》<br>～の向上を図ります。 | 評価<br><br>A |
|-----------------------------------------------|-------------|

| 目標指標の内容                       | 計 画<br>策 定 時 | (上段) 目標 / (下段) 実績 |    |    |    |    |
|-------------------------------|--------------|-------------------|----|----|----|----|
|                               |              | R3                | R4 | R5 | R6 | R7 |
| <b>施策の目標指標に対する令和4年度の実績を記載</b> |              |                   |    |    |    |    |

|                        |                                            |
|------------------------|--------------------------------------------|
| 実施<br>状<br>況           | <b>施策の取組内容に対する事業等の実施状況を記載</b>              |
| 今後<br>の<br>方<br>向<br>性 | <b>施策の取組に対する実施状況や目標指標に対する実績から今後の方向性を記載</b> |

## 重点施策1 心身ともにたくましい子どもが育つ教育を進めます

### 施策1 Society5.0の時代を生き抜く力を育てます

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                           |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------|
| <p><b>《 確かな学力の育成 》</b><br/>主体的・対話的で深い学びの実現等、学習指導要領の趣旨に則った授業改善を進めていくことで、子どもたちの資質・能力の向上を図ります。</p> <p><b>《 ICTを活用した教育の推進 》</b><br/>一人一台端末の環境を最大限に活用し、個別最適化された学習による基礎・基本の定着を図るとともに、課題解決的な学習に協働的に取り組むことを通して、思考力・判断力・表現力を育成します。<br/>また、教職員のICT活用技術向上のための研修等を進めます。</p> <p><b>《 個に応じたきめ細やかな指導 》</b><br/>地域住民等が、生徒指導や学習指導の補助者として学校教育活動に参画することにより、地域に開かれた学校づくりを推進するとともに、地域で子どもを育てる機運の醸成を図ります。</p> <p><b>《 感染症の予防と学びの保障 》</b><br/>新たな感染症の発生を想定し、感染予防対策を徹底するとともに、一人一台端末や学習ソフト等のICT環境を有効に活用して学びの継続を保障します。</p> | <p>評価</p> <p><b>B</b></p> |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------|

| 目標指標の内容                                               |            | 計 画<br>策定時 | (上段) 目標 / (下段) 実績 |         |        |        |        |
|-------------------------------------------------------|------------|------------|-------------------|---------|--------|--------|--------|
|                                                       |            |            | R3                | R4      | R5     | R6     | R7     |
| 全国学力・学習状況調査における全国平均正答率との差                             | 小学校<br>6年生 | -0.5       | +1.0              | +1.0    | +1.0   | +1.0   | +1.0   |
|                                                       | 中学校<br>3年生 |            | -3.9              | -0.9    |        |        |        |
| ICTを活用した指導・支援を日常的に行っている教員の割合                          |            | 69.7%      | 80.0%             | 85.0%   | 90.0%  | 95.0%  | 100.0% |
|                                                       |            |            | 91.5%             | 91.9%   |        |        |        |
| 校務支援システムのメニューを有効に活用している教員の割合(※1)                      |            | —          | —                 | 100.0%  | 100.0% | 100.0% | 100.0% |
|                                                       |            |            | —                 | 87.8%   |        |        |        |
| 「これまでに受けた授業で、コンピュータなどのICTをほぼ毎日使用している」と回答した児童生徒の割合(※2) | 小学校<br>6年生 | 18.3%      | 60.0%             | 70.0%   | 80.0%  | 90.0%  | 100.0% |
|                                                       | 中学校<br>3年生 |            | 45.8%             | 37.1%   |        |        |        |
|                                                       |            | 4.0%       | 60.0%             | 70.0%   | 80.0%  | 90.0%  | 100.0% |
|                                                       |            |            | 17.5%             | 41.3%   |        |        |        |
|                                                       |            |            | (82.1%)           | (74.2%) |        |        |        |
|                                                       |            |            | (62.1%)           | (85.7%) |        |        |        |

(※1) 令和3(2021)年度から運用

(※2) 実績の括弧書は、全国学力・学習状況調査で「週3回以上使用している」と回答した児童生徒の割合

|        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|--------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 実施状況   | <p><b>【こども教育課】</b></p> <p>●学力向上推進事業<br/> 小学校2校、中学校1校を教育委員会指定校とし、学力向上を図るための研究実践を2年間行う。<br/> 《令和3年度・令和4年度》<br/> 中井小学校、落合小学校、有漢中学校<br/> 令和元年度の全国学力及び県学力テストで全国平均を下回った英語について、中学校で英語4技能検定を実施し、結果に基づき授業改善を図った。</p> <p>●GIGAスクールサポーターによる支援(※3)<br/> 各校を週1回程度訪問し、タブレット端末の活用研修(教員対象)、授業支援等を行った。</p> <p>●研修による支援等</p> <p>①こども教育課による研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外部講師を招聘し高梁市授業改革ICT総合研修を実施<br/> 4月・管理職対象(集合)</li> <li>5月・各校情報担当・学力向上担当者等対象(オンライン)</li> <li>8月・市内全教職員対象(集合)</li> <li>・希望研修(任意) 放課後の時間30分程度(オンライン)</li> </ul> <p>②GIGAスクールサポーターによる研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各校からの要請による個別研修(任意) 各校複数回以上実施</li> </ul> <p>③協働学習・AIドリル導入業者による研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オンラインによる研修(任意)等</li> </ul> <p>●学校保健特別対策事業(小・中・高)<br/> 国が措置した「学校等における感染症対策等支援事業」を活用し、対策のために必要となる保健衛生用品等を、学校の状況に合わせ購入した。</p> |
| 今後の方向性 | <p>●令和5年度全国学力・学習状況調査の結果分析を行い、成果と課題について検証を行う。<br/> 児童生徒主体の学びを目指し、探究的な学習に取り組み目標指標の達成を目指す。<br/> 英語4技能検定は中学3年生に実施する。</p> <p>●ICTやタブレット端末の日常的な活用については、かなり進むことができた。今後は、探究的な学習等でのより効果的な活用に向けた学校の支援に当たりたい。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |

(※3) GIGAスクール(構想)とは1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、特別な支援を必要とする子供を含め、多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境を実現する取り組み。



|               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|---------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>実施状況</p>   | <p><b>【こども教育課】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●特別支援教育人材育成プログラムの実施<br/>       専門性向上を高めるため、特別支援教育支援員研修、特別支援教育コーディネーター研修、スキルアップ研修を開催した。<br/> <b>【受講者数（就学前と小中高合計）】</b><br/>           特別支援教育支援員研修　２７名<br/>           特別支援教育コーディネーター研修　３１名<br/>           スキルアップ研修　２３名<br/>       特別支援学級担任の、特別支援学校教諭免許状取得を校長会等で進めた。</li> <li>●適切な就学に向けての相談活動等の実施<br/>       スクラム会議、移行支援会議等に参加し、適切な学びの場の選択について助言した。教育支援委員会を開催し、小中学校合わせて１４７名の審議を行った。<br/>       自立支援協議会主催の「就学に関する学習会」で、就学までの手続きを説明した。</li> <li>●関係機関との連携の充実<br/>       自立支援協議会児童部会において、関係機関と情報共有を行った。<br/>       県専門指導員派遣事業を活用し、特別支援学校等による学校への支援を行った。</li> <li>●特別支援教育推進事業<br/>       令和４年度は、特別支援教育支援員を小学校１４名、中学校５名、就学前６名を配置し、各校園における個に応じた支援を充実させた。今後、医療的ケアの必要な児童の入学も想定されるため、「医療的ケア実施に関するガイドライン」を策定し、学校看護師の適切な配置に向けた体制づくりを行った。</li> </ul> |
| <p>今後の方向性</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●特別支援教育人材育成プログラムの実施<br/>       令和５年度も特別支援教育コーディネーター研修会、特別支援教育支援員研修会、スキルアップ研修会を開催し、特別支援教育の専門性向上を図る。<br/>       特別支援学級担任の特別支援学校教諭免許保有率は、令和３年度より向上したが、引き続き校長会等を通じて取得を呼びかけていく。</li> <li>●適切な就学に向けての相談活動等の実施<br/>       適切な学びの場の選択ができるよう、令和５年度も引き続き特別支援学級入級の基準や手続きについて校長会等で周知を行っていく。<br/>       また、言語障害のみから発達障害にも対象を広げた通級指導教室についても、教職員や保護者に周知を行っていく。また、引き続きオンラインでの通級指導についても研究していく。</li> <li>●関係機関との連携の充実<br/>       自立支援協議会児童部会において、引き続き関係機関と情報共有を行う。<br/>       県エキスパート派遣事業（旧専門指導員派遣事業）についても校園に周知を引き続き行い、特別支援学校等の専門的な知見を活かし、校園の支援を行っていく。</li> <li>●特別支援教育推進事業<br/>       令和５年度は、特別支援教育支援員を小学校１４名、中学校５名、就学前３名を配置している。<br/>       市内学校において、策定したガイドラインに沿って医療的ケアを実施する。</li> </ul>                                                                                   |



| 実施状況   | <p><b>【こども教育課】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●心の教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>小・中学校では「特別の教科道徳」として教科書を活用した確実な取組を推進した。家庭・地域等との連携体制の強化を図り、地域教材・地域人材を活用した取組を推進した。</li> <li>国内のトップアスリート等による授業や交流体験を行い、スポーツを楽しんだり、夢をもって努力したりする心の育成を図った。</li> </ul> </li> <li>●いじめ防止対策推進事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>いじめ防止対策推進法の施行に伴い、平成26年9月に高梁市いじめ問題対策連絡協議会を設置し、関係機関と連携しながら、いじめ防止対策を推進している。</li> <li>&lt;いじめの認知件数&gt;</li> <table border="1" data-bbox="336 678 1249 801"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>48件</td> <td>33件</td> <td>65件</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>10件</td> <td>16件</td> <td>23件</td> </tr> </tbody> </table> </ul></li> <li>●不登校対策実践研究事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>不登校傾向にある児童やその家庭に対して、登校支援や教室・別室での学習支援等、保護者等への相談支援を行う支援員や別室担当教員を配置した。また、支援対象者リストより各校の不登校の状態を把握し適切な支援を行った。</li> <li>&lt;不登校児童生徒数&gt;</li> <table border="1" data-bbox="336 1003 1249 1126"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>7人</td> <td>6人</td> <td>10人</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>31人</td> <td>25人</td> <td>18人</td> </tr> </tbody> </table> </ul></li> <li>●学校ふれあい促進事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>不登校等の諸問題の解決を図るため、教育相談体制を充実し、学校・保護者・幼児・児童・生徒に対し、臨床心理士等の専門家からコンサルテーションを受ける機会を提供し、問題の解決にあたった。令和4年度は、特性を持った生徒への指導に関する助言等を校内事例検討会などを通じ4回実施した。</li> </ul> </li> </ul> | 年度    | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 小学校 | 48件 | 33件 | 65件 | 中学校 | 10件 | 16件 | 23件 | 年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 小学校 | 7人 | 6人 | 10人 | 中学校 | 31人 | 25人 | 18人 |
|--------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|-------|-------|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|-------|-------|-------|-----|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 年度     | 令和2年度                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 令和3年度 | 令和4年度 |       |       |     |     |     |     |     |     |     |     |    |       |       |       |     |    |    |     |     |     |     |     |
| 小学校    | 48件                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 33件   | 65件   |       |       |     |     |     |     |     |     |     |     |    |       |       |       |     |    |    |     |     |     |     |     |
| 中学校    | 10件                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 16件   | 23件   |       |       |     |     |     |     |     |     |     |     |    |       |       |       |     |    |    |     |     |     |     |     |
| 年度     | 令和2年度                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 令和3年度 | 令和4年度 |       |       |     |     |     |     |     |     |     |     |    |       |       |       |     |    |    |     |     |     |     |     |
| 小学校    | 7人                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 6人    | 10人   |       |       |     |     |     |     |     |     |     |     |    |       |       |       |     |    |    |     |     |     |     |     |
| 中学校    | 31人                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 25人   | 18人   |       |       |     |     |     |     |     |     |     |     |    |       |       |       |     |    |    |     |     |     |     |     |
| 今後の方向性 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●「将来の夢や目標をもっている」児童生徒の割合 <ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの調査では目標指数を下回っている。学年が上がるにつれ、数値が下がる傾向がある。児童生徒による地域貢献活動を教育課程に組み込むことで、学ぶ意義を実感するとともに、自身のキャリア形成について考える機会を設定する。</li> </ul> </li> <li>●いじめ防止対策 <ul style="list-style-type: none"> <li>早期の認知や組織的な対応を促すため、報告様式の改定等ハード面での整備を行ったこともあり、認知数の大幅な増加をすることができた。令和4年度末の生徒指導提要の改訂を踏まえた、早期対応と未然防止を積極的に推進していく。</li> </ul> </li> <li>●不登校対策 <ul style="list-style-type: none"> <li>家庭の考え方の変化等、不登校児童生徒を取り巻く環境は複雑さを増しており、一度不登校になるとなかなか効果的な対応がしにくい現状がある。引き続き「行くのが楽しい学校づくり」の構築を基本とし、別室の職員配置事業で得られた運営ノウハウ等の知見も活用しながら学校の対応力向上を目指す。</li> </ul> </li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |       |       |       |       |     |     |     |     |     |     |     |     |    |       |       |       |     |    |    |     |     |     |     |     |





|                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|-----------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">実施状況</p>   | <p><b>【こども教育課】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●コミュニティ・スクール導入等促進事業<br/>高等学校1校を除き全小中学校で導入を完了した状況を踏まえ、各協議会の充実を図るため教育委員会事務局職員で担当を決め伴走支援を行っている。</li> <li>●特色ある学校づくり事業（小・中・高）<br/>令和4年度は小学校3校、中学校2校から応募があり、全ての計画を採択した。地域との連携、外部人材の活用等を図り、学校教育目標の実現に向けた実践が行われた一方で、コロナにより十分な活動が行えない状況も生じた。</li> <li>●がんばる地域のコラボ事業<br/>宇治高校の生徒のために、管理運営委員会が下宿先を準備し、受け入れ体制を整えた。</li> <li>●大学等からの専門性の提供<br/>心理学部において、いじめ問題対策連絡協議会等各種委員会等での助言や校内での生徒指導に関する事例検討会等で大学の専門的な知見を得ながら取組を進めている。</li> <li>●高梁市高校魅力化<br/>「高梁市県立高等学校の在り方を考える協議会」において、高梁市内の高等学校が地域に根差した学校として地域に愛され、高梁市にはなくてはならない魅力的な学校になるよう教育体制や教育振興の在り方について協議・支援した。<br/>・市役所内横断的組織（プロジェクトチーム）の設置<br/>・全国募集の強化                      ・通学環境整備                      等</li> </ul> <p><b>【社会教育課】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●地域学校協働活動の推進<br/>地域学校協働活動のボランティアや放課後子ども教室活動のサポートにより、環境美化活動、通学路の安全確認等を行った。</li> </ul> |
| <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">今後の方向性</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●コミュニティ・スクール、地域学校協働活動の推進<br/>各コミュニティ・スクールを支援するため、市教育委員会担当者が協議会へ参加することで具体的な助言を行う取組を引き続き行う。また、探究学習等でコミュニティ・スクールが一層活用できるよう、特色ある学校づくり事業の拡充を進める。<br/>コミュニティ・スクール（地域とともにある学校づくり）と、地域学校協働活動（学校を核にした地域づくり）の一体的推進に向け、社会に開かれた教育課程を核にした連携・協働を強化する。<br/>各地区の教職員や保護者、地域住民が、学校・家庭・地域について、どのような魅力を感じているのか、どのような課題があるのかを調査し、育てたい子どもの姿・地域の姿や、魅力・課題等を共有しながら、地域の活性化を図る。</li> <li>●特色ある学校づくり事業（小・中・高）<br/>教育課程以外の活動に対しても採択できるよう制度を大幅に拡大し、小中高22校での実施ができるよう準備する。</li> <li>●がんばる地域のコラボ事業<br/>下宿の体験会など下宿希望生徒の募集活動を効果的に行うとともに、受け入れ体制の整備充実の研究を引き続き行っていく。</li> <li>●高梁市高校魅力化<br/>プロジェクトチームを継続設置し、市内外への魅力発信を強化するとともに、入学者の安定確保に向け、特色ある教育活動をさらに推進するための支援を引き続き行っていく。</li> </ul>                                                                                                                                                                                  |



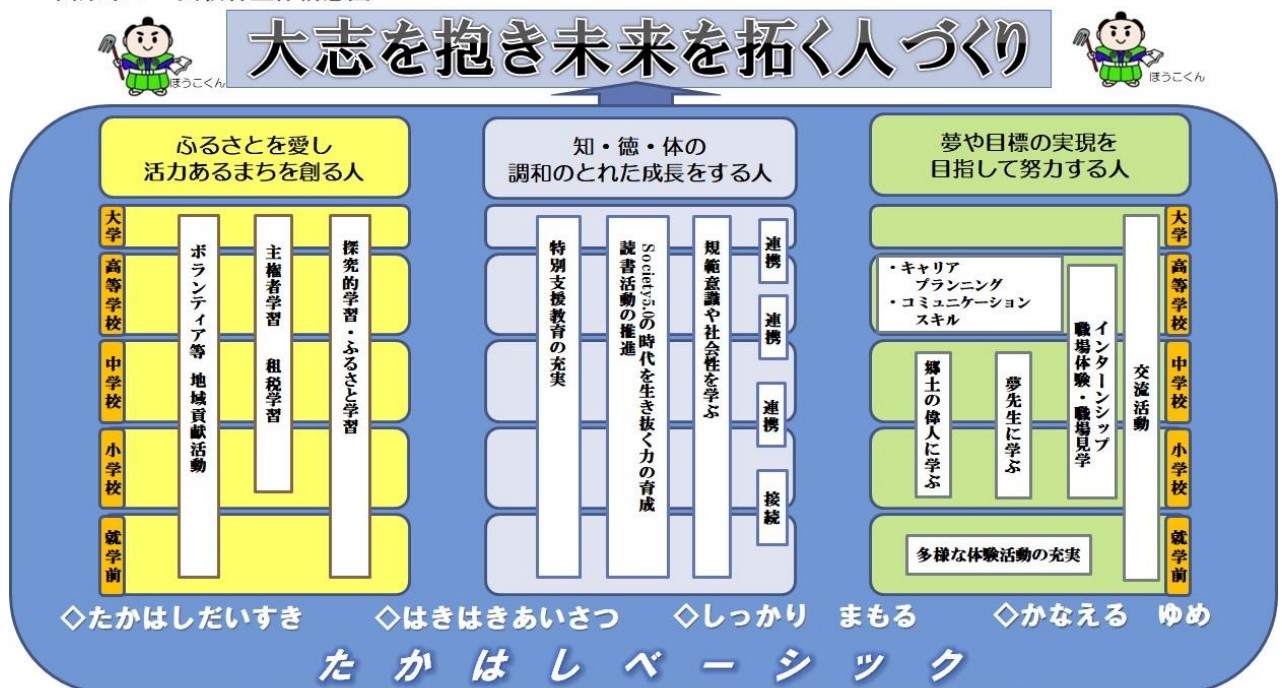
|               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|---------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>実施状況</p>   | <p><b>【こども教育課】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ふるさと学習の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度はすべての小中学校で、山田方谷をはじめ児島虎次郎や綱島梁川など、郷土の偉人を扱った授業を行った。</li> <li>地域の偉人に対する敬愛の心を培うため、山田方谷カレンダーを作成し、配布した。</li> </ul> </li> <li>●だっぴ <ul style="list-style-type: none"> <li>中学生が地域の大人と生き方や働き方や夢について話し合う場である「だっぴ」を開催し、地域の魅力を再認識し、地元や社会への関心を高めるとともに、魅力的に生きていく大人との交流を深めることができた。</li> </ul> </li> </ul> |
| <p>今後の方向性</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●ふるさと学習の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、地域にゆかりのある偉人を扱った授業を行っていく。</li> <li>山田方谷カレンダーは令和5年度も作成・配布し、郷土の偉人をより身近に感じることができるようになる。</li> </ul> </li> </ul>                                                                                                                                                                                                       |

施策6 就学前から小・中・高、さらには大学までも見通した一貫教育を推進します

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                           |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------|
| <p>《 一貫した教育の推進 》</p> <p>就学前・小・中・高等学校・大学間での合同授業や出前授業、交流活動等を積極的に進め、相互の連携を図るとともに、系統的で一貫した教育を推進します。</p> <p>《 就学前教育と小学校教育との円滑な接続 》</p> <p>「高梁市就学前教育保育ビジョン」に基づいて、多様な体験活動を充実させるとともに、接続カリキュラムを通して、就学前教育と小学校教育との滑らかな接続を図ります。</p> <p>《 校種を超えた交流活動によるキャリア教育 》</p> <p>児童生徒が校種を超えて交流することを通して、先輩の生き生きと活動する姿に触れ、進学したり成長したりすることに憧れや期待を抱いたり、世代を超えた関わりの中で自分のよさに気づいたりする学習の充実を図ります。</p> | <p>評価</p> <p><b>B</b></p> |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------|

| 目標指標の内容                                                          |     | 計 画<br>策定時 | (上段) 目標 / (下段) 実績 |       |        |        |        |
|------------------------------------------------------------------|-----|------------|-------------------|-------|--------|--------|--------|
|                                                                  |     |            | R3                | R4    | R5     | R6     | R7     |
| 「近隣等の小(中)学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行った」学校の割合 | 小学校 | 60.0%      | 65.0%             | 70.0% | 75.0%  | 80.0%  | 85.0%  |
|                                                                  | 中学校 | 83.3%      | 85.0%             | 95.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |
|                                                                  |     |            | 100.0%            | 83.3% |        |        |        |

高梁市の一貫教育全体構想図



|               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|---------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>実施状況</p>   | <p><b>【こども教育課】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●一貫教育の推進 <p>全ての学校・園において、「高梁市の一貫教育全体構想図」の内容をカリキュラムに位置づけ実施した。園の管理・運営も教育委員会となり、より効率よい推進を図ることができた。</p> <p>また、教職員、保護者、地域と情報共有を行い、定着を図った。</p> </li> <li>●地域職場体験活動事業 <p>令和4年度は、コロナ禍の中ではあったが、市内すべての中学校2年生が市内の事業所において3日間の職場体験を実施することができた。</p> </li> <li>●就学前教育の質の向上と小学校との円滑な接続 <ul style="list-style-type: none"> <li>①就学前アドバイザー2名を配置し、園・小学校へ計画訪問、園へ要請訪問を行った。</li> <li>②高梁市人事評価制度の保育者の能力評価項目について、高梁市保育者育成プログラムを反映したものに変更した。</li> <li>③経験年数別、専門分野別、職能別の各研修会を開催した。</li> <li>④高梁幼稚園が岡山県教育委員会の就学前からの特別支援教育拠点化推進事業を受けるとともに、高梁市教育委員会においても有漢こども園を高梁市就学前教育保育課程の研究園として指定を行い、それぞれの園での研究実践を支援した。</li> <li>⑤園と小学校が連携し、令和3年度に見直した接続カリキュラムの実践を呼びかけた。</li> <li>⑥園小接続の推進のため、小学校教員や小中学校新採用教員の保育体験を実施した。</li> </ul> </li> </ul> |
| <p>今後の方向性</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●一貫教育の推進 <p>「高梁市の一貫教育全体構想図」、「たかはしベーシック」について、校園長会を通じて周知を行っている。しかし、目標指標である「教育課程に関する共通の取組を行った」と回答した小学校と中学校の捉えは異なっている。引き続き、校区の校長会や学力向上担当者会、中学校区の学校運営協議会等で、めざす子ども像について共通理解を図り、具体の実践を進めていく。</p> </li> <li>●地域職場体験活動事業 <p>令和5年度も引き続き、望ましい職業観や勤労観をもち、将来の生き方を考える機会としていく。</p> <p>また、高梁市に居住し、働きたいという気持ちを育むためにも、病院や福祉施設、学校等、体験先の職場をさらに広げていく。</p> </li> <li>●就学前教育の質の向上と小学校との円滑な接続 <p>引き続き就学前教育アドバイザー2名を配置し、専門的な指導・助言を行う。全園への計画訪問・要請訪問やニーズに沿った研修企画により効果的な研修を実施し、幼児教育・保育の質の向上を目指す。</p> <p>令和4年度からこども園・保育園・幼稚園が学校と同じ管轄となった強みを活かして一体的な接続を目指す。見直しを行った接続カリキュラムの効果的な実施、計画訪問の際に園と小学校の相互参観、園小接続の確認と協議、情報交換の機会を作る、小中学校の新採用職員を対象とした園での保育体験を実施する等により、園と小学校の円滑な接続の推進を図る。</p> <p>令和7年4月に開設予定の高梁認定こども園（仮称）のソフト面の取組を計画的に進める体制構築を図る。</p> </li> </ul>     |



|               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|---------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>実施状況</p>   | <p><b>【こども教育課】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●学級編制弾力化事業<br/>市独自で小学校1学級当たりの人数を30人以下としたことに伴い、高梁小学校4年生は1学級21人程度、落合小学校1年生16人程度、成羽小学校4年生は17人程度の学級編制となり、きめ細やかな指導をすることができ、子どもたちが抱える生徒指導上の課題への対応も充実した。同じく、令和4年度から中学校の1学級当たりの人数を35人以下としたことに伴い、高梁中学校2年生は1学級26人程度の学級編制となり、教室にもゆとりができ、きめ細やかな指導をすることができている。</li> <li>●落合こども園（仮称）の整備<br/>落合地域の就学前教育の一旦を担っている（福）梁和会より落合保育園の老朽化に伴う建替えとともに、落合幼稚園の機能を持ち合わせた認定こども園を令和6年度に開園したいとの要望があったため、「高梁市就学前教育・保育方針」の幼保一体化を進めるとの考え方にに基づき、令和5年度末をもって落合幼稚園を閉園する。</li> </ul> <p><b>【教育総務課】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●高梁認定こども園（仮称）施設整備事業<br/>高梁市街地における認定こども園整備のため用地を取得し、実施設計の策定や造成工事を実施中である。<br/>高梁認定こども園の再編対象となる高梁南幼稚園において、園児数の減少及び施設の老朽化による安全性の確保が困難になったことから、高梁幼稚園と高梁南幼稚園を先行的に統合するため、令和4年度末で高梁南幼稚園を閉園した。</li> <li>●有漢義務教育学校（仮称）施設整備事業<br/>有漢義務教育学校の設立に向けて、校舎等を整備するための実施設計を策定中である。校舎の増改築部分は、鉄骨造の2階建てで、現有漢中学校についてはトイレ等を改修する計画である。</li> </ul> |
| <p>今後の方向性</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●学級編制弾力化事業<br/>1学級当たりの人数を小学校で30人以下、中学校で35人以下とする学級編制弾力化を行う。市独自の取組であるため、市費での常勤講師の確保に努める。</li> <li>●落合こども園（仮称）の整備<br/>（福）梁和会が整備する落合こども園の整備について、国の補助事業活用により支援していく。また、落合幼稚園閉園に向け、園児・保護者等の交流を実施していく。</li> <li>●高梁認定こども園（仮称）施設整備事業<br/>高梁認定こども園開園に向け、建築工事等を行う。コロナ禍及びウクライナ情勢により建築費が高騰しているため、引き続き内容の精査を行うとともに、ZEB化に向けて対応していく。（※8）</li> <li>●有漢義務教育学校（仮称）建設事業<br/>有漢義務教育学校開校に向け、建築工事等を行う。</li> <li>●学校園適正配置検討委員会<br/>市立学校・園の適正配置について、学校園適正配置検討委員会を設置して保護者と各地域の代表や学識経験者の意見を聴取し、学校園適正配置計画を策定する。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |

（※8）ZEBとは、Net Zero Energy Building（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）の略称で、「ゼブ」と読む。快適な室内環境を実現しながら、建物内で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物。現在、ZEBの実現・普及に向けて、4段階に定義されており、高梁認定こども園（仮称）はZEB Ready（再生可能エネルギーを除き、基準一次エネルギー消費量から50%以上の一次エネルギー消費量削減に適合した建物）を目指す。





|               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|---------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>実施状況</p>   | <p><b>【こども教育課】【各学校給食センター】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●地産地消の推進 <p>学校給食での市内産品の使用率を高めるため、市内関係機関との連携を図った。<br/>また、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金により、地場産品活用事業として、産業振興のため地元食材を積極的に学校給食として提供した。</p> </li> <li>●食に関する指導の充実 <p>栄養教諭並びに学校栄養職員と連携し、「高粱味めぐり」や「わたしたちが考えた給食献立」により、食への関心を高める取り組みを実施した。<br/>「わたしたちが考えた給食献立」では、富家小学校5・6年生が給食の歴史を学ぶとともに、栄養のバランスに気を付けた献立を考案した。また、季節の行事食や郷土食の献立の際には、給食を生きた教材として活用している。</p> </li> </ul> <p><b>【教育総務課】【各学校給食センター】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●学校給食費の公会計化に伴う環境整備 <p>公会計化に伴う規則の整備と給食費を管理するための電算システムを導入した。</p> </li> <li>●学校給食センター再編検討委員会 <p>令和7年度までの学校・園の再編を見据え、給食センターの適正配置及び運営について調査研究のため、学校給食センター再編検討委員会を開催した。</p> </li> </ul> |
| <p>今後の方向性</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●地産地消の推進 <p>目標数値には及ばないが、使用率は上がっている。今後も地場産品の使用率を上げるよう市内関係機関と連携し進める。しかしながら、市内産の使用率を目標数値まで上げることは、使用食材の基準や現在の食材調達を考えると困難であるため、目標指標においては県内産品の使用率を上げていくよう努める。</p> </li> <li>●食に関する指導の充実 <p>学校・園は、児童・生徒・園児に食に関する指導を、栄養教諭は栄養面、衛生面等の指導を引き続き行う。<br/>令和5年度は、玉川小学校において、「わたしたちが考えた給食献立」の事業を行う。</p> </li> <li>●学校給食センター再編検討委員会 <p>児童生徒数の減少や学校・園の再編状況を踏まえ、学校給食センターの統合及び給食調理業務の民間委託について、学校給食センター再編検討委員会を引き続き開催し令和5年度中に提言を行う。</p> </li> </ul>                                                                                                                                                                                                                      |



|                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|-----------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">実施状況</p>   | <p><b>【教育総務課】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ICT推進事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、中学校3年生と小学校1年生のiPadを335台（小学校158台、中学校177台）、普通教室が増加した落合小学校と高梁北中学校へ1台ずつ電子黒板を整備した。</li> <li>また、iPadの持ち帰り学習に対応するため、家庭用の充電器を1,650個整備した。</li> </ul> </li> <li>● 学校施設改修事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化した成羽小学校旧校舎の危険性を解消するため解体工事を行い、防球ネット及び遊具の整備をした。</li> <li>・宇治小学校3階男子トイレの改修等行った。</li> <li>・倒壊の危険性の高かった宇治高等学校木工教室棟を解体し、新たにその跡地に調理実習棟を建設するため、実施設計を行った。</li> </ul> </li> <li>● 特別教室空調設置事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>津川・川面・巨瀬・松原・有漢東小学校及び高梁・高梁北中学校の特別教室（理科、音楽、家庭科、図工、図書、資料室）へエアコンを新たに整備した。また、それに伴い必要となる受電設備の改修を行った。</li> </ul> </li> <li>● トイレ大規模改修事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>落合小学校の老朽化した学校トイレを全面的に改修し、洋式化・乾式化することで衛生環境を改善した。</li> </ul> </li> </ul> |
| <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">今後の方向性</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 学校施設改修事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>宇治小学校屋内運動場の防水・外壁等改修、照明設備をLED化する。</li> <li>高梁北中学校屋内運動場の床フローリングの改修、及び防犯施設の整備を行う。</li> <li>宇治高等学校の木工教室棟跡地へ新たに調理実習棟を建築し、木工教室を移転する予定。</li> <li>順次小中学校の普通教室の照明LED化を行う。</li> </ul> </li> <li>● 特別教室空調設置事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>財源の確保に努めながら、順次小中学校の特別教室へ新たにエアコンの設置を行う。</li> </ul> </li> <li>● トイレ大規模改修事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>成羽小学校の老朽化した学校トイレを全面的に改修し、洋式化・乾式化することで衛生環境を整える。</li> </ul> </li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |

## 重点施策2 生涯学習の機会を広げ文化・スポーツの振興を図ります

### 施策1 誰もが楽しみ触れ合える生涯学習活動を推進します

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                           |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------|
| <p><b>《 多様な学習機会の提供 》</b></p> <p>地域の特性や課題、個人のニーズに応じた学習機会を提供し、子どもを含めた様々な年代の地域社会への参加・参画を推進するとともに、学習の成果を活動につなげるために、地域活動リーダーの育成を図ります。</p> <p>様々な体験を通して、子どもたちの可能性や夢を広げるため、日常では味わえない体験や見学など、本物に触れることにより、目標や将来の夢を広げる学習機会を提供します。</p> <p><b>《 郷土愛の醸成 》</b></p> <p>市内の小中高生が地域課題の解決やまちづくりに積極的に参画できる活躍の場を創出し、郷土への愛着心を醸成します。</p> <p><b>《 子どもの読書活動の推進 》</b></p> <p>「第4次高梁市子ども読書活動推進基本計画」に基づき、子どもの読書活動に関わる全ての者（市・図書館・家庭・学校園・民間団体等）が横断的に連携し各種取組の充実と促進を図ります。</p> | <p>評価</p> <p><b>C</b></p> |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------|

| 目標指標の内容            | 計 画<br>策定時 | (上段) 目標 / (下段) 実績 |         |         |         |         |
|--------------------|------------|-------------------|---------|---------|---------|---------|
|                    |            | R3                | R4      | R5      | R6      | R7      |
| 公民館講座受講者数(延べ)      | 17,880人    | 18,300人           | 18,700人 | 19,100人 | 19,500人 | 20,000人 |
|                    |            | 7,304人            | 6,819人  |         |         |         |
| 青少年の体験講座等の参加者数(延べ) | 1,839人     | 1,870人            | 1,900人  | 1,930人  | 1,960人  | 2,000人  |
|                    |            | 1,474人            | 1,528人  |         |         |         |

|                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|-----------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">実施状況</p>   | <p><b>【社会教育課】</b></p> <p>●<b>公民館運営事業</b><br/>       市民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的として、公民館講座や研修会を実施した。<br/>       新型コロナウイルス感染症の影響により制限がある中で各公民館において工夫しながら、特色のある講座や地域のニーズにあわせた公民館講座を実施し、地域住民の交流や幅広い学習活動の場が提供できた。また、多様化する地域課題の解決に向け公民館等がその特性を活かし、中心的な役割を担うことができるようレインボープロジェクトを企画し、令和5年度から実施できるよう調整を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・趣味教養講座</li> <li>・世代間交流を目的とした講座（3世代ニュースポーツ大会、3世代グラウンドゴルフ大会等）</li> <li>・地域に根差した講座（そば打ち体験、野鳥観察等）</li> <li>・文化祭・講演会 など</li> </ul> <p>●<b>成人式運営事業</b><br/>       令和4年4月から成年年齢が引き下げられたが、高梁市では引き続き20歳を対象として、自覚や郷土への誇りを感じてもらうため、実行委員会が中心となり記念式典と記念行事を行った。（対象者318人中参加者188人）</p> <p>●<b>地域子育て創生事業（広がる子どもの夢事業）</b><br/>       子どもたちの目標や将来の夢を広げるため、日常では味わえない、文化・スポーツ・科学技術等の体験・見学など本物に触れる機会を提供した。（参加者数191人）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ピアノリレー</li> <li>・だっぴ</li> <li>・子ども司書養成講座</li> <li>・フリークライミング</li> <li>・iPadでポスター・CM作成 等</li> </ul> <p>●<b>生涯学習推進事業（高梁すきすき探検隊）</b><br/>       郷土への愛着や誇りを持つ心豊かな子どもを育成することを目的として、市内の小学3年生から6年生を対象に市内を探索してまちの魅力を発見する体験学習を実施した。</p> <p>●<b>子ども読書活動の推進事業</b><br/>       第4次高梁市子ども読書活動推進基本計画に基づき、家庭で子どもが本に親しむ機会を作り家庭での読書の習慣づけ重要性の理解を促進するため、健康づくり課が実施するブックスタートに加え、小学校入学を機にセカンドブック、小学校卒業を機にサードブックとして1冊の本を贈呈した。</p> |
| <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">今後の方向性</p> | <p>●<b>多様な学習機会の提供及び郷土愛の醸成事業</b><br/>       コロナ禍により、制限を行いながら実施した事業もあったが、市内の魅力を発見する「高梁すきすき探検隊」等を行った。脈々と受け継がれる郷土の歴史や豊かな自然環境、観光資源を通じて郷土の魅力を子どもたちに伝え、多様な学習機会を提供できるよう既存事業の充実を図るとともに、より効果的な手法等を探っていく。</p> <p>●<b>子ども読書活動の推進事業</b><br/>       第4次高梁市子ども読書活動推進基本計画に基づき、図書館・家庭・学校園と連携しながら、引き続き既存事業の充実を図るとともに、指定管理者の持つ民間のノウハウ等を活用して読書の習慣化を図り、不読率の改善に係る効果的な手法等を探っていく。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |



|                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|-----------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">実施状況</p>   | <p><b>【社会教育課】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 図書館管理運営活用事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>図書館施設を活用した多様なイベントの開催により、市民が図書館に訪れ本に触れる機会を提供することで、図書館を核とした生涯学習の振興を図るとともに賑わいの創出を図った。また、蔦屋書店の売り場面積を縮小し、イベント情報をより提供しやすくするなどの工夫を行い、図書館が多用途に活用できる場となるよう、誰もが気軽に立ち寄れる空間づくりを行った。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図書館主催の講座等イベントの開催<br/>(× 梁<sup>かけはし</sup>パークマルシェ、パンマルシェ、自分史の書き方講座、子ども神楽など)</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>● 川上総合学習センター改修事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>老朽化している施設設備の改修として屋根の改修を行い、施設利用者が安全安心して利用できる環境整備を行った。</li> </ul> </li> <li>● 高梁市文化交流館整備事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>老朽化している荷物用エレベーターの改修を行った。また1階照明設備や高圧ケーブルを改修するための設計を行った。</li> <li>さらに、より使いやすく、多くの方に利用できる施設になるよう現有設備の撤去・更新の必要性の検討を行った。</li> </ul> </li> <li>● 高梁市文化センターの指定管理 <ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理者制度の活用により、地域住民の文化の向上と交流の推進を図った。</li> <li>・ 指定管理者 株式会社吉備ケーブルテレビ</li> <li>・ 指定管理期間 令和2年10月1日～令和8年3月31日（5年6カ月）</li> <li>・ 業務内容 施設管理、貸館業務、自主文化事業（高梁出身のピアニスト木口雄人さんと森野美咲さん凱旋コンサート、鳥羽一郎コンサート、八代亜紀・パクジュニョン・ラグズ&amp;ジェラ・東京ホテイソン出演高梁音楽祭 2022 特別公演 など）</li> </ul> </li> </ul> |
| <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">今後の方向性</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 図書館管理運営活用事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症の影響はあったものの、コロナ禍の図書館に求められる役割を考え、実施可能な事業に取り組み、目標指標を達成できるよう、引き続き施設を活用した賑わいの拡大を図りながら、図書の利用増、生涯学習の推進、地域との連携強化に努める。</li> </ul> </li> <li>● 施設管理・指定管理 <ul style="list-style-type: none"> <li>今後も設備改修等で快適な施設環境を整えるとともに、指定管理者との連携を密にししながら、市民のニーズを捉えたサービスの充実に取り組んでいく。</li> </ul> </li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |



### 施策3 地域文化・芸術活動を振興します

|                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                  |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------|
| <p><b>《 地域文化の創造と交流 》</b><br/>         地域の文化・芸術諸団体の活動を支援するとともに、市民相互の連携を深めることで地域文化の創造と交流を推進します。</p> <p><b>《 郷土愛の醸成 》</b><br/>         山田方谷をはじめとする郷土の偉人や歴史を学ぶことを通じて、ふるさと高梁への愛着と誇りを醸成します。</p> <p><b>《 芸術・文化の浸透 》</b><br/>         市民の地域文化への関心と学習意欲に応えるため、ニーズに沿った文化講座等の開催や、芸術・文化を鑑賞する機会を提供します。</p> | <p><b>評価</b></p> <p><b>C</b></p> |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------|

| 目標指標の内容           | 計 画<br>策定時 | (上段) 目標 / (下段) 実績 |          |          |          |          |
|-------------------|------------|-------------------|----------|----------|----------|----------|
|                   |            | R3                | R4       | R5       | R6       | R7       |
| 文化連盟文化祭等入場者数      | 3,595 人    | 3,500 人           | 3,550 人  | 3,600 人  | 3,650 人  | 3,700 人  |
|                   |            | 1,576 人           | 2,484 人  |          |          |          |
| 歴史美術館入館者数(※10)    | 1,663 人    | 2,200 人           | 2,400 人  | 2,600 人  | 2,800 人  | 3,000 人  |
|                   |            | 2,626 人           | 1,301 人  |          |          |          |
| 成羽美術館入館者数         | 17,851 人   | 18,000 人          | 18,500 人 | 19,000 人 | 19,500 人 | 20,000 人 |
|                   |            | 17,587 人          | 10,728 人 |          |          |          |
| 吉備川上ふれあい漫画美術館入館者数 | 10,848 人   | 11,000 人          | 11,250 人 | 11,500 人 | 11,750 人 | 12,000 人 |
|                   |            | 7,658 人           | 8,666 人  |          |          |          |
| 山田方谷記念館入館者数       | 4,936 人    | 4,800 人           | 4,850 人  | 4,900 人  | 4,950 人  | 5,000 人  |
|                   |            | 1,988 人           | 2,722 人  |          |          |          |

(※10) 計画策定時の現状値は、収蔵庫空調改修工事に伴う上半期の休館により通常より減少している

|                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|-----------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">実施状況</p>   | <p><b>【社会教育課】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●文化芸術活動推進事業（文化団体への支援）<br/>地域における文化活動の活性化を促し、文化事業の担い手を育成するため、次のことに取り組んだ。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・各地域の文化協会や高梁市文化連盟の活動支援</li> <li>・高梁市文学選奨の実施、「高梁の文学」の発行</li> </ul> </li> <li>●文化振興基金運営事業（歴史文化講座）<br/>市内の歴史的文化遺産や文化財について、郷土高梁への愛着を高めるため歴史文化講座（高梁歴史いろは塾：日本遺産・歴まち推進室との共催）を開催した。</li> <li>●方谷記念館運営事業<br/>平成30年度に開館した山田方谷記念館を管理運営するとともに、山田方谷の顕彰及び情報発信を行った。</li> <li>●歴史美術館特別展等開催事業<br/>郷土の偉人や歴史、市にゆかりのある芸術家等に関する展示を行い、郷土への興味と誇りの醸成を図った。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・常設展「たかはしの歴史と美術」（4/1～5/30、12/10～2/6）</li> <li>・企画展「もののふの系譜～高梁を治めた武士～」（9/3～11/28）</li> <li>・企画展「生誕140年 清水比庵展～芸術に遊ぶ～」（2/18～3/31）</li> </ul> </li> <li>●マンガ文化のまちづくり推進事業<br/>漫画文化の情報発信及び交流拠点として、次の事業を行った。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワクワク体験教室（春休み、夏休み）</li> <li>・企画展示「バイクマンガ特集」（7/23～10/3）</li> <li>・特別展「松本ひで吉展」（10/8～12/19）</li> </ul> </li> <li>●成羽美術館運営事業<br/>美術館の利用者を増やし、市民が美術に触れる機会を提供することにより文化の振興を図った。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理委託料 49,380千円</li> <li>特別展（春）：生誕140年記念 芸術家児島虎次郎の古代エジプト蒐集記</li> <li>展覧会（夏）：一念ずれば花ひらくー詩人 坂村真民の世界</li> <li>特別展（秋）：流麻二果 その光に色を見る Spectrum of Vivid moments/<br/>野田正明 50年の軌跡ーニューヨークから世界へー</li> </ul> </li> </ul> |
| <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">今後の方向性</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●文化芸術活動推進事業（文化団体への支援）<br/>市内文化協会が開催する文化祭の入場者数は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって開催を断念した団体もあったため、目標値を下回ることとなった。<br/>文化連盟の会議等の再開に伴い各文化協会同士の情報共有を図り、文化祭における交流を行うなどの連携を図ることにより、一層の文化活動を推進できるように努める。</li> <li>●文化施設の活用<br/>近年重視される文化財の活用の一環として、未指定のものも含めて市内の文化財の価値を掘り起こし、歴史美術館をはじめとした展示施設での展示に反映させ、地域の歴史について教育普及を図り本市への愛着心や誇りを醸成する。<br/>市民の関心と学習意欲に応えた文化講座や芸術・文化の鑑賞機会を提供するため、引き続きさまざまな企画を実施するとともにニーズの把握に努める。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |



|               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|---------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>実施状況</p>   | <p>【社会教育課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 史跡備中松山城跡整備事業<br/>大池の保存整備工事及び発掘調査を実施した。</li> <li>● 天然記念物管理事業<br/>国指定の天然記念物である「臥牛山のサル生息地」の保護管理と食害防止を図った。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 管理人による追い上げ</li> <li>・ 電気柵の設置</li> <li>・ 発信機の装着</li> <li>・ 個体数調査</li> </ul> </li> <li>● 吉岡銅山関連遺跡調査事業<br/>国の史跡指定に向けて、吉岡銅山関連遺跡の現況及び関連資料を調査し、評価に向けた基礎データを収集した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地形測量、発掘調査、文献調査等</li> </ul> </li> <li>● 備中神楽等伝承事業<br/>備中神楽や渡り拍子等の伝統芸能を保存伝承していくため、各保存伝承育成団体の活動支援や研修会の実施を行った。</li> <li>● 高梁市郷土資料館保存修理事業<br/>高梁市指定重要文化財に指定されており郷土資料館として活用している「旧高梁尋常高等小学校本館」について、雨漏り等により傷みが激しくなっていたことから、屋根の葺き替えや外壁の塗替え等の保存修理を実施した。</li> </ul> |
| <p>今後の方向性</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 備中松山城の管理<br/>新型コロナウイルス感染症の影響を引き続き受けたことにより、備中松山城への入城者数は前年を上回ったものの、目標数値を下回る事となった。今後はアフターコロナを見据えるとともに、新型コロナウイルス感染症拡大の状況を見ながら、二重櫓の特別公開などを行い、入城者数の回復に努めたい。</li> <li>● 文化財の保存活用<br/>史跡備中松山城跡保存整備、天然記念物管理、吉岡銅山関連遺跡調査などの文化財の保存については、活用の大前提となるものであることから、継続して計画的に実施し、活用につなげていく。</li> <li>● 備中神楽等伝承事業<br/>新型コロナウイルス感染症の影響は大きく、活動の自粛など顕著であった。備中神楽については、宮崎県が中心として設立を行った全国神楽継承・振興協議会へ高梁市、備中神楽成羽保存会が加盟しており、ユネスコ世界無形文化遺産の登録を目指すところであり、この動きに連動して、広報等を行うことで、伝統芸能の保存・継承に関する普及啓発に努めていきたい。</li> </ul>                                                                                                                                            |



|               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|---------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>実施状況</p>   | <p>【社会教育課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●吹屋伝建家屋保存事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>吹屋伝建地区の家屋保存整備を行った。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・那須家、べんがら屋</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> <p>【日本遺産・歴まち推進室】</p> <p>日本遺産センターを旧吹屋小学校の校舎内に整備し、令和5年2月にオープンした。</p>                                                                                                            |
| <p>今後の方向性</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●吹屋伝建家屋保存事業 <p>城下町における歴史的町並み保存整備、吹屋地区における伝統的建造物群保存地区家屋保存修理ともに、住民の理解と協力を得て、継続した修理・修景に取り組んでいる。今後も同様に継続して修理・修景をすすめ、町並み景観の維持に努め、歴史を生かしたまちづくりに取り組んでいく。</p> </li> <li>●日本遺産を活用した地域の活性化 <p>日本遺産の認知度も徐々にではあるが向上していると思われ、コロナ禍でありながら、吹屋への来訪者は入館者数などからみると一定程度の成果はあげていると考えられる。町並みにおける観光客も戻りつつあり、旧吹屋小学校内に整備した日本遺産センターへの来訪者の増加によって、さらに町並みの活性化につなげていく。</p> </li> </ul> |

## 施策6 ライフステージに応じたスポーツ活動を推進します

|                                                                                                                                                                                             |           |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|
| <p>《 生涯スポーツの推進 》</p>                                                                                                                                                                        | <p>評価</p> |
| <p>スポーツ団体との連携により、各種教室・大会の実施やニュースポーツの振興など市民誰もが、それぞれの体力や年齢、技術、興味、目的に応じて、スポーツに親しむことができる生涯スポーツを推進します。また、市民がそれぞれに合った様々な形でスポーツに参加できる環境を整えるため、スポーツ協会や総合型地域スポーツクラブ等関係団体やスポーツ推進委員の活動・組織の強化を図ります。</p> | <p>C</p>  |

| 目標指標の内容           | 計 画<br>策定時 | (上段) 目標 / (下段) 実績 |      |      |      |      |
|-------------------|------------|-------------------|------|------|------|------|
|                   |            | R3                | R4   | R5   | R6   | R7   |
| 総合型地域スポーツクラブの加入者数 | 208人       | 212人              | 217人 | 221人 | 226人 | 230人 |
|                   |            | 154人              | 123人 |      |      |      |

|               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|---------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>実施状況</p>   | <p>【スポーツ振興課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●スポーツ協会の組織力強化、生涯スポーツの推進<br/>高梁市スポーツ協会への運営補助、市民スポーツ祭の開催を通して、一般市民への生涯スポーツの推進が図れた。</li> <li>●総合型地域スポーツクラブの育成・支援<br/>総合型地域スポーツクラブ「ピオーネ」の活動は、コロナ禍において大きな煽りを受け、参加人数の減少に歯止めがかからなかった。</li> <li>●スポーツ推進委員の活動支援<br/>スポーツ推進委員の活動については、研修会への参加やニュースポーツ指導を通して、自己の研鑽を積んだり、ニュースポーツの普及に努めたりすることができた。</li> <li>●スポーツ教室の開催<br/>スポーツ教室は、コロナ禍のなか、ファミリーソフトテニス教室を10回、ジュニア陸上教室を6回、市民硬式テニス教室を5回開催することができた。</li> </ul> |
| <p>今後の方向性</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●スポーツ協会の組織力強化、生涯スポーツの推進<br/>今後も引き続き、補助金額の見直しや体育施設の指定管理の受け皿としての協議を重ねつつ、適切な支援を行っていく。</li> <li>●総合型地域スポーツクラブの育成・支援<br/>積極的な広報活動を支援し、参加者獲得の手立てについて協議していく。</li> <li>●スポーツ推進委員の活動支援<br/>学級PTA活動や諸団体の交流会等へ積極的に関わる事で、ニュースポーツの普及に努める。</li> <li>●中学生のスポーツ活動確保の推進<br/>国の方針に則り、こども教育課と連携しながら、合同部活動を推進していく。ゆくゆくは、地域や社会競技団体等が受け皿となれるよう、スポーツ環境の整備に努めていく。</li> </ul>                                                           |



## 施策7 スポーツを通じた青少年の育成を図ります

|                                                                                                                                                                                                   |           |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|
| <p><b>《 スポーツふれあい交流事業の推進 》</b></p>                                                                                                                                                                 | <b>評価</b> |
| <p>大会や実技講習会を開催し、参加者同士の交流、トップチームやトップアスリートとの交流などを通じて、スポーツの振興、スポーツ技術の向上を推進します。</p> <p>スポーツ協会、学校、スポーツ少年団等関係団体が一貫指導体制を整備することについて組織全体で共通理解を図り、指導者の育成や指導者同士の連絡会議、また、合同練習等の積極的な開催等、一体となった競技者の育成に努めます。</p> | <b>C</b>  |

| 目標指標の内容                        | 計 画<br>策定時 | (上段) 目標 / (下段) 実績 |       |       |       |       |
|--------------------------------|------------|-------------------|-------|-------|-------|-------|
|                                |            | R3                | R4    | R5    | R6    | R7    |
| 小学校(5年生)・中学校(2年生)体力テストのAB段階獲得率 | 48.7%      | 49.0%             | 49.0% | 49.5% | 49.5% | 50.0% |
|                                |            | 51.9%             | 44.6% |       |       |       |

|                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|-----------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">実施状況</p>   | <p><b>【スポーツ振興課】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>スポーツふれあい交流事業</b><br/>       サッカー3ライズリーグや平松政次旗学童軟式野球大会を市外・県外からの参加を得て開催し、スポーツの振興、スポーツ技術の向上を図ることができた。「夢の教室（ユメセン）」は3年連続のオンライン開催となったが、子ども達に将来の夢について考える機会を与えることができた。</li> <li>● <b>スポーツの振興、スポーツ技術の向上に向けた取組</b><br/>       激励金や助成金の交付により、競技スポーツの振興を深めることができた。       <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 激励金交付<br/>           令和3年度：3団体、32個人 ⇒ 令和4年度：4団体、47個人</li> <li>・ 交通費・宿泊費に対する助成金の交付<br/>           令和3年度：4団体、個人なし ⇒ 令和4年度：6団体、1個人</li> </ul>       また、岡山シーガルズ等、トップレベルの選手やチームに”直接、触れる”ことができる各種講習会を行い、大いに競技力の向上を図ることができた。</li> <li>● <b>スポーツ少年団の活動支援、指導者の育成</b><br/>       コロナ禍ではあったが、各スポーツ少年団とも指導者・保護者により、自主的な活動が行われ、青少年の健全育成に寄与することができた。通常通り開催される各種大会等も増え、積極的な参加が見られた。       <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 団体数、団員数<br/>           令和3年度 25団体 486人 ⇒ 令和4年度 26団体 492人</li> </ul> </li> </ul> |
| <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">今後の方向性</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>スポーツふれあい交流事業</b><br/>       今後も事業効果の高いサッカー3ライズリーグや平松政次旗学童軟式野球大会、「夢の教室（ユメセン）」を柱とし、事業を推進していく。</li> <li>● <b>スポーツの振興、スポーツ技術の向上に向けた取組</b><br/>       激励金や助成金の交付により競技スポーツの振興を深めるため、今後も引き続き広報活動を行い、奨励していく。<br/>       開催する競技種目については、バランスのとれた講習会の開催を目指しつつ、引き続きトップスポーツチームによる講習会も開催する。</li> <li>● <b>スポーツ少年団の活動支援、指導者の育成</b><br/>       活動補助金の交付や体育施設使用料の免除などは引き続き行う方針ではあるが、より効果的な補助金交付の方法などを研究した上で、活動を支援していく。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |



|                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|-----------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">実施状況</p>   | <p><b>【スポーツ振興課】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●<b>スポーツ交流推進事業</b><br/>吉備国際大学シャルム岡山高梁の組織力・チーム力を強化するため運営補助を行い、ホームゲームでは累計2,677人を動員し、シャルムスタジアムを核とした市民のスポーツ交流機会の促進を図ることができた。</li> <li>●<b>マラソン大会の開催</b><br/>愛らぶ高梁ふれあいマラソン（2月）を開催し、702人の参加者を得ることができた。なりわ神楽マラソン（3月）の開催は中止となった。</li> <li>●<b>自転車競技大会の開催</b><br/>ヒルクライムチャレンジシリーズ 2022 高梁吹屋ふるさと村大会を開催し、860人の参加者を得て、スポーツ交流人口の拡大を図ることができた。</li> <li>●<b>施設の改修整備</b><br/>老朽化している施設設備の改修及び利便性向上のための施設改修整備を行った。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・高梁運動公園（テニスコート人工芝、高圧受電設備）改修整備事業</li> <li>・神原スポーツ公園（テニスコート人工芝・照明、野球場照明システム）改修整備事業</li> </ul> </li> <li>●<b>施設の運営・利活用</b><br/>令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、上半期は合宿等の中止があったものの、下半期には制限解除により受入数が増加した。</li> </ul> |
| <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">今後の方向性</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●<b>スポーツ交流推進事業</b><br/>運営補助については引き続き行い、シャルムの地域貢献活動やホームゲームの動員実績を積み重ねていくための支援をしていく。</li> <li>●<b>自転車競技大会の開催</b><br/>自転車イベントによる地域を活性化するための取組を高梁市全域に広げるため、レース形式の大会を見直しし、計測しないサイクリングイベントを開催する。</li> <li>●<b>施設の改修整備</b><br/>総合計画に基づき、順次整備が進んでいる。今後は、公共施設再編計画に基づく施設再編への対応や各施設の施設個別計画の策定、各施設の維持管理方法の見直しなどを行い、持続的な施設運営・利活用ができる体制を整える。</li> <li>●<b>施設の運営・利活用</b><br/>神原荘をはじめ、高梁国際ホテルや朝日堂などの民間宿泊施設との連携を図るとともに、新たな利用メニューの設定など、市外からのスポーツ合宿者受入数の増加を図る。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                     |

## 施策9 人権を大切にする共生のまちづくりを進めます

|                                                                                                                                                                                                                    |                           |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------|
| <p><b>《 人権教育推進事業の推進 》</b></p> <p>多様化する人権問題について理解を深めるため、講演会や研修会の開催、人権・啓発リーフレットの作成、配布等を行うとともに、講師派遣や教材の貸出、提供等を実施し、園・学校・地域・企業等での自主的な研修を支援します。</p> <p>公民館や高梁市図書館の講座において、外国人との交流事業などを通じて、多様な文化や生き方を学び理解を深める機会を提供します。</p> | <p>評価</p> <p><b>C</b></p> |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------|

| 目標指標の内容          | 計 画<br>策定時 | (上段) 目標 / (下段) 実績 |       |       |       |       |
|------------------|------------|-------------------|-------|-------|-------|-------|
|                  |            | R3                | R4    | R5    | R6    | R7    |
| 人権問題学習講座参加者数(延べ) | 634 人      | 650 人             | 660 人 | 670 人 | 680 人 | 700 人 |
|                  |            | 0 人               | 227 人 |       |       |       |
| 多文化共生講座開催館数      | 1 館        | 3 館               | 6 館   | 9 館   | 12 館  | 15 館  |
|                  |            | 1 館               | 1 館   |       |       |       |

|                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|-----------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">実施状況</p>   | <p><b>【社会教育課】</b></p> <p>●人権教育推進事業</p> <p>人権問題学習講座を3回実施した。また、人権教育に関する他の各種事業を実施し、人権意識の高揚を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・PTA人権教育研修会（幼・保・こ・小・中・高）</li> <li>・子どものエンパワーメント育成のための研修会（希望のあった校・園）</li> <li>・就学前人権教育研修会（教諭・保育士）</li> <li>・人権啓発リーフレット「きずな」の作成と配布（市内全戸・関係機関等）</li> <li>・人権啓発推進DVDの購入と活用</li> <li>・公民館、高梁市図書館での多文化共生社会の実現を目指した講座等の提供</li> </ul> |
| <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">今後の方向性</p> | <p>●人権教育推進事業</p> <p>多様化する人権問題に対応する必要がある、各種事業の実施要領の検討や人権問題学習講座の開催方法等の見直しに取り組んでいく。</p> <p>●多文化共生の推進</p> <p>多様な文化や生き方を学び理解を深める機会を提供するため、各種事業のテーマとして多文化の理解を取り上げるよう取り組んでいく。</p>                                                                                                                                                                                            |

## ◎ 学識経験者の意見

### 諏訪委員

- 特別支援教育（P. 10～11）を重点化されて、そこを軸とした学校づくりを推進されていると理解しています。施策の評価なので、行政としては手厚くやっても実際の現場では、更にスキルアップしてほしいという事だと思いますが、今回の実施状況や数値目標を鑑みると個人的には評価が「A」ではないかと思いました。
- ふるさと学習の推進（P. 16～17）について、地域の偉人に関するだけでなく、学校を訪問する中では自然・化石・植物等の地域の教育資源を活用した教育のほかにも、コミュニティ・スクールや地域の方々との連携協働を通して地域への愛着が育まれていると感じました。
- 生涯学習とまちづくりは、子供たちが地域のことを知り、自分の言葉で主体的に話すことができるよう、社会教育の公民館事業と連携しながら進めてほしいと思います。子供が元気だと地域も元気になるし、地域の方々の豊かな生きがい創出にもなるので、是非、生涯学習の分野で子供たちの参加、参画がさらに進めばよいと思いました。
- 当事者よりもその周辺が価値を見出していることがよくあるので、地域外の方々にまちのよさを語ってもらうなど、地域外の方々と交流するような話し合いやワークショップ、地域や地元の人も周りから教えてもらったり、アドバイスや刺激をあたえてもらったり、発信だけでなく受信も含めて相互交流できるような企画をされてもいいと思いました。
- ヒルクライムの運営形態の変更について、どんどん変わっていくことは大事だと思います。目的が何のためにあるのか、他の事業についても目的に照らして運営形態の評価反省も含めて、運営形態を変容するということは進化的でいいことだと思います。
- 教育長のリーダーシップの下、関係機関の部課が協働連携して行政を進めていることに大きく称賛させていただきます。事業というのは目的が大事になってきますので、事業をやることが前年度の踏襲で、踏襲が目的化すると目的と実態がずれてきます。事業の実施状況や今後の方向性から、「こうりたい」とか「こうしたい」という目的や姿を想像できたので、目的を達成するための事業であるということを皆さんが意識されていることを強く感じることができました。
- ABCDEという総合評価をつけるのであれば「C」が中間だと思いますが、概ね目標を達成するという「B」であったり、目標より十分上回っていたり、定量的なものではなく定性的なものも含めて上回っていないか。あるいは18ある施策の中でも特にこれが売りになっているというものには、思い切って「A」をつければよいと思います。それを市民に向けた報告としても、市民も市が頑張っていることを3名の評価委員が支持したということはわかると思うので、これは是非強くお願いしたいと思います。

### 中畑委員

- 毎年、適切に計画時に設定された目標について客観的数値で評価をされており、それぞれの事業で効果を出すぞという強い意欲を感じます。継続することで、さらに分析できる内容が増えていくと思います。

○全体の項目の中で、目標を大きく上回っていたのがICTの項目（P. 8～9）ですが、実施状況を見ると、単にGIGAスクールサポーターを配置して終わりでは無く、併せて実施した研修が大変工夫されており、多面的、多角的、計画的であり、それらがサポーターの実働と相まって実効力を出せたと感じました。

他の項目においても、単発の対策で無く、多面的、多角的、計画的な対策を行うことが有効だと考えます。例えば、ふるさと学習（P. 16～17）では実施状況に2事例しかありませんが、生涯学習の事業（P. 26～27）や地産地消（P. 22～23）なども、ふるさと学習につながり相乗効果を発揮させていると思います。

○不登校対策について（P. 12～13）、不登校児童生徒への支援は生徒指導提要に基づき対応されていることと思いますが、不登校に対するスタンスを共有しておくことは、常に大切だと思っています。

○高校魅力化（P. 15）について、「県立高等学校のあり方を考える会」では、管轄が異なる学校についての協議となり困難を極める中、御尽力いただいていることに感謝しかありません。

高梁市の出生数等を考えたときに、市内5高校を維持することは至難の業であり、既存の高校のブラッシュアップにとどまらず、新たな視点からのあり方を県教育委員会と連携し模索する必要があると考えています。

○学級編成弾力化事業（P. 21）は、高梁市独自の取り組みで常勤講師を配置するなど、現状の児童生徒の課題に取り組みやすい環境を創出していてすばらしいと感じます。

○市外からのスポーツ合宿の受け入れ（P. 40）が目標を大きく上回っており、素晴らしいと思いました。スポーツの振興にとどまらず、観光や移住促進に繋がることを期待しています。

スポーツ以外にもダンスや合唱、ご高齢の方や主婦のサークルも合宿をされることがあると聞いていますので、スポーツ等の合宿を契機に、大勢の方々が高梁を訪れ、高梁の魅力を感じてくれたらと思います。

#### 渡邊委員

○だっぴ（P. 17）は、私も参加したことがありますが、本当に優れたシンプルだけど得られるものが大きいという印象を持っているので、今後も広げていってほしい。

○適切な学校配置と教育体制づくり（P. 20～21）は、小規模校の環境を生かした学校環境整備の在り方について、教育効果を視野に置いた学校再編計画を経営面と経済面の両面から検討する必要があり、本当に難しい課題ですが教育委員会のイニシアチブの一番重要なところだと思います。

○学級編成弾力化事業（P. 21）は、人員の確保もさることながら予算的な確保についても大変だと思いますが、市独自の取組として継続してほしい。

○落合こども園については、今後どうなるのか情報提供を行い、地域が応援できるよう対応してほしい。



- 学校施設の整備（P. 25）について、トイレの洋式化やエアコンの設置は学校教育の充実を支える健康面からも重要な部分ですし、地域社会との関連でも大きいと思います。予算の面でも大変だろうと思いますが高梁市の印象をよくするという面でもとても大事なことだと思います。
- 郷土愛の醸成（P. 30）について、ふるさとに対する愛着や誇りを醸成することは大事な仕事なので、参加人数からの評価だけでなく、そこに集まった人たちが何を学んだかというあたりに視点を置いてよいと思います。
- 「C」評価が多いですが、その中でも「Bに近いものはないか」という分析もしていただきたい。「C」と評価する場合でも、「これはBに近いCで理由はこうです」という説明は、教育委員会各課・係の一体感を醸成する意味でも必要な気がします。
- スポーツや運動は、小学生・中学生・高校・大学・社会人・高齢者になっても何かしらかかわっていくと思います。生涯スポーツは、好きな運動をするというのももちろんだけど、一緒にやる人たちと楽しむこと、地域づくりや交流の場というのが、スポーツや運動の一つの大きな側面だと感じました。
- 改めて高梁市の教育行政の全体像・概論をお聞きして、学校教育、社会教育それぞれが一体となって高梁市の教育を少しでも高めて充実させようとしているのが伝わってきました。  
GIGA とか ICT 機器抜きには子供たちの未来はなく、きちんと活用する子供を育てると同時に ICT 機器に依存しない ON と OFF の切り替えができるようにする、そのバランスが難しいところだと感じました。